

指定管理者制度導入施設 年度評価シート

評価年度

令和5年度

1 基本情報

公の施設名	相模原市立緑の休暇村センター 相模原市立青根緑の休暇村いやしの湯 相模原市立津久井合唱館
指定管理者名	一般社団法人 青根振興協議会
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日
施設設置条例	相模原市立緑の休暇村センター条例、相模原市立青根緑の休暇村いやしの湯条例、相模原市立津久井合唱館条例
施設の設置目的	青根地域の豊かな自然環境の中で、市民の健全な休養と研修の場を提供し、もって市民福祉の向上と地域社会の発展に寄与する。（相模原市立緑の休暇村センター条例第2条） 温泉資源の活用による市民の福祉の向上及び健康の増進を図り、市民のふれあいと交流を促進し、もって地域の活性化に寄与するため。（相模原市立青根緑の休暇村いやしの湯条例第2条） 市民が行う合唱、楽器演奏等の音楽活動及び交流活動の場を提供することにより、合唱の里づくりの推進及び音楽文化の振興並びに市民の総合交流の促進に寄与するため。（相模原市立合唱館条例第2条）
施設概要	【緑の休暇村センター】 所在地：緑区青根807番地2 開館日：昭和55年6月8日 管理面積：12,434㎡ 延床面積：717.25㎡ 構造：鉄骨造地上2階、木造 主な施設：宿泊室6室、コテージ3棟、テニスコート2面、食堂 【青根緑の休暇村いやしの湯】 所在地：緑区青根844 開館日：平成17年5月11日 管理面積：4,187.730㎡ 延床面積：999.875㎡ 構造：鉄骨造一部木造平屋建 主な施設：温泉施設、貸切休憩室 【津久井合唱館】 所在地：緑区青根851番地 開館日：平成6年7月1日 敷地面積454.96㎡ 延床面積：105.24㎡ 構造：鉄骨造1階
施設所管課	緑区役所区政策課（緑の休暇村センター及び青根緑の休暇村いやしの湯） 津久井まちづくりセンター（津久井合唱館）

2 管理実績

項目（単位）	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
【休暇村センター】利用者数合計（人）	4,564	4,322	3,974	1,432	1,405	2,240	2,701
【休暇村センター】利用料金合計（円）	9,910,930	9,409,140	8,578,410	4,633,602	3,944,520	6,689,597	6,180,000
【いやしの湯】利用者数合計（人）	104,457	101,385	82,679	51,133	60,782	86,042	90,461
【いやしの湯】利用料金合計（円）	65,045,800	65,020,460	53,670,220	34,453,910	65,882,338	96,789,845	61,488,210
【合唱館】利用者数合計（人）	1,151	1,109	790	55	194	267	452
【合唱館】利用料金合計（円）	192,150	165,900	115,500	21,000	64,050	60,900	69,650

3 成果指標の達成度

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
D	新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、通年営業を維持する中で、施設利用者数について、緑の休暇村センター・いやしの湯・合唱館ともに前年比約1割～1.6割増と、緩やかではあるが増加傾向にある。緑の休暇村センターは、冬期からテニスコートが利用中止となった影響はあるものの、キャンピングカー交流事業を誘致するなど、利用者の拡大につながっていると考えられる。 評価については、評価年度における成果指標の達成度の3施設平均値が80%未満であることから、D評価とするもの。

指標	3指標の平均値
指標名 (単位)	各施設における達成度 (%) の平均値
指標式と指標の説明	評価年度における「成果指標の達成度」の3施設の平均値

項目 (単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
3施設平均値 (%)	81.2%	76.7%	70.7%	28.9%	39.3%	51.7%	59.2%

指標1	緑の休暇村センター
指標名 (単位)	施設利用者数の増加 (対象施設: 客室、コテージ、食堂、テニスコート)
指標式と指標の説明	施設の年間利用件数/12カ月 単位: 人 目標数値は平成28年度と平成29年度の2年間の利用件数 (1カ月当たり) の平均値5%増とする。 ※平成29-30年度は前指定管理期間、目標値平成22-24年度の3年間の利用件数 (1カ月当たり) の平均値15%増

項目 (単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値 (人)	440	440	420	420	420	420	420
実績値 (人)	380	360	331	119	117	187	225
達成度 (%)	86.4%	81.8%	78.8%	28.3%	27.9%	44.5%	53.6%

指標2	青根緑の休暇村いやしの湯
指標名 (単位)	施設利用者数の増加 (対象施設: 入浴施設)
指標式と指標の説明	施設の年間利用件数/12カ月 単位: 人 目標数値は平成28年度と平成29年度の2年間の利用件数 (1カ月当たり) の平均値5%増とする。 ※平成29-30年度は前指定管理期間、目標値平成22-24年度の3年間の利用件数 (1カ月当たり) の平均値15%増

項目 (単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値 (人)	10,084	10,084	8,800	8,800	8,800	8,800	8,800
実績値 (人)	8,328	8,449	6,890	4,261	5,065	7,170	7,538
達成度 (%)	82.6%	83.8%	78.3%	48.4%	57.6%	81.5%	85.7%

指標3	津久井合唱館
指標名(単位)	施設の年間利用件数 単位：件(コマ)
指標式と指標の説明	午前、午後、夜間の区分を1コマ=1件とする。 目標数値は平成28年度と平成29年度の2年間の利用コマ数(1カ月当たり)の平均値5%増とする。 ※平成29-30年度は前指定管理期間、目標値平成22-24年度の3年間の利用コマ数(1カ月当たり)の平均値10%増

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値(件)	245	245	200	200	200	200	200
実績値(件)	183	158	110	20	65	58	77
達成度(%)	74.7%	64.5%	55.0%	10.0%	32.5%	29.0%	38.5%

4 事業の実施状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
A	<p>キャンピングカー交流事業では施設間相互の横断的で効果的な事業展開がなされ、また送迎バス運行事業に関しては送迎地域を拡大するなどして施設の設置目的に則した事業が展開された。本施設の指定管理者を長く経験しているという立場を生かした有効な自主事業展開がなされていることが評価できる。</p> <p>評価については、基準点に対する達成度が100%以上125%未満となったことから、A評価とするもの。</p>

市が指定する事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
該当なし			

企画提案事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
該当なし			

自主事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
キャンピングカー交流事業	5月14日	キャンピングカーが集結し、交流といやしの湯利用や野菜直売所の利用拡大ができた	○
ペルセウス座流星群観測会	8月10～11日	コロナ対策物品が県補助対象外となり経費の増加と参加者少なく中止した。	/
道志川合唱祭及び前夜祭	9月9日	合唱祭メイン会場が旧青根中学校体育館となったことから、前夜祭を津久井合唱館を会場で実施（芸能発表、和太鼓演奏、打ち上げ花火）され、事業に協力、協賛しパンフレットの配布などPRに努めた。参加者は約200人。	○
いやしの湯送迎バス運行事業	10月～3月	地域住民の健康増進と交流を図るため、地域振興協議会の協力を得て秋から冬の間の利用者の拡大に努めた。 利用者数 ・月2回、6ヶ月間 ・青根・青野原地区 ・約80名利用	◎
相模原市制記念日事業	11月20日	相模原市制政記念日に入館料の割引を行うなど、利用者の拡大に努めた。 入館料（3時間） 大人：750円→400円 子供・障がい者：430円→300円	○
いやしの湯入浴料金サービス	12月～2月	午後5時以降の入館料を大人550円、子供・障がい者330円	○
ゆず湯	12月22日	地域で収穫されたゆずを利用して、冬至に露天風呂でゆず湯を行った。	○
冬季ポイントサービス	1月～2月	期間中の平日1回利用につき2ポイント付与のサービスを提供した	○
新春甘酒サービス	1月2日、3日	新春の入館者にご利用を感謝し甘酒の提供をした	○

5 利用者の満足度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
S	施設利用者数が回復してきたこともあり、休暇村センターでは前年度91枚から112枚に、いやしの湯では前年度242枚から300枚にそれぞれ増加した。合唱館では、団体利用が多いことから、代表者数名の回答に留まる状況である。回答数が増加してもなお各施設の実績値は前年度に引き続き高い水準で推移しており、利用者に対して質の良いサービスの提供が継続して行われていることがうかがえる。引き続き、回答数の確保に努めていただきたい。 評価については、基準点に対する達成度が110%以上となったことから、S評価とするもの。

利用者満足度調査	3施設の平均値
調査手法/サンプル数	利用者満足度調査（アンケート用紙による満足度調査）/令和5年4月1日～令和6年3月31日実施 ※サンプル数は個別表参照
目標値の基準	「普通」以上の割合が8割以上 ※R1は「満足」と「やや満足」の合計が8割以上

項目（単位）	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値（%）	80	80	80	80	80	80	80
実績値（%）	78.0	82.7	79.3	98.3	98.3	98.0	98.0
達成度（%）	97.5%	103.3%	99.1%	122.9%	122.9%	122.5%	122.5%

利用者満足度調査	緑の休暇村センター
調査手法/サンプル数	利用者満足度調査（アンケート用紙による満足度調査）/112件（令和5年4月1日～令和6年3月31日実施）
目標値の基準	接客、食事など各項目の満足度の「普通」以上の割合が8割以上 ※R1は「満足」と「やや満足」の合計が8割以上 ※H29-H30年度は設問が異なるため参考値

項目（単位）	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値（%）	80	80	80	80	80	80	80
実績値（%）	77	98	62	97	100	99	100
達成度（%）	96.3%	122.5%	77.5%	121.3%	125.0%	123.8%	125.0%

利用者満足度調査	青根緑の休暇村いやしの湯
調査手法/サンプル数	利用者満足度調査（アンケート用紙による満足度調査）/300件（令和5年4月1日～令和6年3月31日実施）
目標値の基準	総合的な満足度の「普通」以上の割合が8割以上 ※R1は「満足」と「やや満足」の合計が8割以上 ※H29-H30年度は設問が異なるため参考値

項目（単位）	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値（%）	80	80	80	80	80	80	80
実績値（%）	78	77	83	98	95	95	94
達成度（%）	97.5%	96.3%	103.8%	122.5%	118.8%	118.8%	117.5%

利用者満足度調査	津久井合唱館
調査手法/サンプル数	利用者満足度調査（アンケート用紙による満足度調査）/23件（令和5年4月1日～令和6年3月31日実施）
目標値の基準	施設管理状況、利用料金、接遇、総合的な満足度の「普通」以上の合計が8割以上 ※R1は施設管理状態、利用料金、接遇、総合的な満足度の「満足」と「やや満足」の合計が8割以上 ※H29-R1年度は設問が異なるため参考値

項目（単位）	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値（%）	80	80	80	80	80	80	80
実績値（%）	79	73	93	100	100	100	100
達成度（%）	98.8%	91.3%	116.3%	125.0%	125.0%	125.0%	125.0%

その他の取組		
取組事項	時期	取組内容
該当なし		

6 施設の経営状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
D	<p>売上については、前期より増加しているが、収入より費用が多く、特に人件費、水道光熱費の検討対策を求める。水道光熱費は他の施設は売上に対して20%であるが、青根振興協議会では30%である。施設内のLED化を進めて欲しい。</p> <p>評価は、本体事業収支、全体収支とも赤字で、「団体本体の経営状況に重大な懸念がある。」ことから、基準により、D評価とするもの。</p>

施設の収支概要		※直近3年間について記載			(千円)
項目		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
収入 (a)		118,800	78,586	72,808	
	指定管理料	714	714	714	
	利用料金収入	50,842	63,493	67,737	
	その他の収入	67,243	14,379	4,357	
支出 (b)		91,417	94,528	84,095	
	人件費	25,251	27,471	29,276	
	本社管理経費	44,468	60,916	47,776	
	その他の支出	21,697	6,140	7,043	
本体事業収支 [(a)-(b)] (c)		27,382	-15,941	-11,287	
自主事業収入 (d)		18,880	39,732	46,900	
自主事業支出 (e)		31,296	40,583	49,564	
自主事業収支 [(d)-(e)] (f)		-12,415	-851	-2,664	
全体収支 [(c)+(f)]		14,967	-16,793	-13,951	
備考	※千円未満は切り捨て処理				

団体の財務状況	団体本体の経営状況について重大な懸念がある。
---------	------------------------

7 管理業務の履行状況

検査方法	履行管理に関するチェックシートを使用した現地調査、指定管理者へのヒアリング
実施時期	令和6年3月7日：緑の休暇村センター及び青根緑の休暇村いやしの湯 令和5年6月28日：津久井合唱館

検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	
危機管理	適正に実施	
人員配置・地元活用	適正に実施	
現金管理	適正に実施	
会計・経理	適正に実施	
情報セキュリティ	適正に実施	
情報公開・個人情報保護	適正に実施	
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	
加点事由	具体的内容	
有	施設従業員は85%が市内に居住する人員である。また、業務の再委託はボイラー保守等の専門的な知識を必要とするものを除いてすべて市内業者を活用しており、積極的な地元活用が図られている。	

8 ウェブアクセシビリティ

ホームページの作成	有
-----------	---

ウェブアクセシビリティの取組項目	取組状況
機種依存文字を使っていない。	○
ページ内の文字の大きさを変えることができる。	×
単語の途中にスペースや改行を入れていない。	×
ページ内容を的確に表しているタイトルが付いている。	○
ダウンロードできるファイルには、ファイルの種類とサイズを記載している。	○
画像には、代替テキスト等を付与し、支援技術利用者にも適切な代替情報を提供している。	×
背景色と文字色にコントラストを確保するなど、色使いに配慮している。	×
その他取り組んでいること	

9 指定管理者の自己評価

新型コロナウイルス感染症が5月8日から5類感染症に移行され、人の動きが活発になり景気の回復が期待されましたが、コロナの影響が残り休暇村センターは団体のキャンセルなど利用者の増加は鈍い状況でした。いやしの湯は、洗い場や脱衣所の人数制限を解除し、市制記念日事業やゆず湯の再開などにより利用者の拡大に努めました。また、地域の健康増進と交流の場として高齢者のための無料送迎バスの運行、地域団体の入浴券助成制度により本年も約300名の方に利用していただきました。無料送迎バスは、これまで青根地区だけでしたが、隣接の青野原地区にも試験的に運行しました。さらに実施時期等を検討し、利用者の拡大に努めます。利用者は、前年度より増加しましたが、さらに10万人台を目指して努力してまいります。

10 所管課意見

施設利用者数は新型コロナウイルス感染症の流行以降、徐々に復調傾向にあり、利用者の呼び戻しや新規利用者の獲得に一定の成果があったものと評価する。

自主事業について、いやしの湯送迎バス運行事業、キャンピングカー交流事業や入浴料金サービス等の自主事業を実施し、地域の活性化等に貢献している点については評価できるが、評価対象となる事業数が少ないこと、新たな事業展開が少ない印象がある。

今後は、効果的な新たな事業を検討するとともに、現行事業については実施方法を見直す等により、指定管理者の創意工夫を凝らした積極的な事業の展開を期待したい。

また、施設利用者の満足度調査においては、高い水準を維持しており、利用者に対し適切なサービスが提供されているものと思われる。今後は、工夫を凝らした調査手法による調査回答者の確保や、施設の利用者確保に向けた取組や新規利用者層の開拓など、さらなる施設の活性化に向けて取り組んでもらいたい。

11 審査委員会意見

- ・いやしの湯の利用者数がコロナ禍前に回復傾向にある中で、津久井合唱館の利用者数は少ない。目標値について、存続している合唱団体の状況を鑑み、目標率を下げるなど検討が必要と考える。
- ・交通の利便性が悪いので、バス会社や旅行会社に相談するなどして、利便性を向上する仕組み作りの検討が必要と考える。
- ・テニスコートの修繕は今後どうなるか。テニスの需要も踏まえ、スケボーなど他設備を含め検討が必要と考える。
- ・流星観測、テントサウナなど、施設の横断的な利用を促進する事業など様々な事業展開を望む。
- ・満足度調査の結果で良い評価が多いことは良いが、サンプル数が少ない。公平性を担保した意見とするには、利用者数の1%は必要と考える。
- ・満足度調査において、給水機の設置要望が出ている。至近の現状では困難と思うが、熱中症や脱水症のことを考慮し、脱衣所や休憩所に、プラスチックポットに入れた水の設置を望む。この猛暑もあり、至急の対応をお願いしたい。

